

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立あゆみの家

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人蒼渥会		H19.1.1 ~ H24.3.31	5年 3ヶ月	
社会福祉法人蒼渥会		H24.4.1 ~ H29.3.31	5年	
社会福祉法人蒼渥会		H29.4.1 ~ R3.4.2	4年	
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R3.4.1 ~ R4.3.31	1年	23,427,808
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1 ~ R8.3.31	4年	

2 施設の概要

所 在 地	韮崎市旭町上條南割3314-13
設置年月日	平成19年1月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立あゆみの家設置及び管理条例
設置目的	精神障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図る。
主な業務の内容	(1)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・自立訓練(生活訓練)及び短期入所に係る業務を行う。 (2)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:2,169m ² ○建築延面積:646.09m ² ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建 ○施設の内容 ・居室:全室個室:10m ² 、1階に10部屋、2階に12部屋(2室は短期入所) 居室設備等(収納、ベッド、洗面台、エアコン、冷蔵庫、カーテン、バルコニー) ・その他:静養室(ベット、洗面台、カーテン)、多機能室、相談室、浴室、トイレ、娯楽室兼食堂、事務室、宿直室、倉庫等 ○各障害福祉サービス定員 ・自立訓練(生活訓練):20人、宿泊型自立訓練:20人 ・短期入所:2人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	72,195,903	45,946,915	53,224,674	54,863,210	47,987,859	
a	55,858,410	39,850,398	46,517,207	45,238,992	49,729,648	
収支差額	16,337,493	6,096,517	6,707,467	9,624,218	△ 1,741,789	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利 用 実 績	35人	13人	30人	31人	27人	各障害福祉サービスの月平均利用者数
利 满 足 度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえど満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和6年度は4年間の指定管理期間の3年目であり、新規入居者6名、退居者12名、退居者のうち10名は、自宅やグループホーム等での生活に移行した。

退居者について、移行先に空きがある場合は利用期間(2年)より早期に退居していく傾向がある。また、病識や訓練目標等に対する認識不足等が原因で退居するケースや、病状悪化や他事業所希望等を理由に入居に至らないケースもあった。富士東部等遠方の居住者は、かかりつけ医や地元を離れること等の課題がある。引き続き、利用者増に向けて関係機関との連携の強化を図っていく。

利用者支援では、本人・家族の意思を尊重し、障害特性等を踏まえた個別支援計画及び個別訓練実施計画に基づき、段階的に希望する生活の場や日中の過ごし方、必要なサービス等を見極め、生活訓練の見直し等により、地域生活への移行に努めた。関係機関と連携し利用者に適したサービス等の情報収集及び資料提供、施設見学や体験利用の調整等を行うとともに、安心して地域生活ができるよう支援関係者への情報提供にも配慮した。

感染対策について、日常生活における外出や外泊制限の解除、他施設での日中活動や宿泊体験等が増える中で、消毒や手洗い、検温等の継続及び外泊者等の帰所後の健康チェック等に注意を払った。

施設設備の維持管理については、利用者の安全な生活が確保できるよう、建物設備点検(年1回)及び消防設備点検(年2回)等、業者による定期点検を実施している。また、職員による清掃等日中活動時(毎週)、安全対策委員会開催前(月1回)の施設内及び外観等の点検、大掃除の機会に空調設備の清掃点検(年2回)を行い、迅速な対応を要する場合は優先的に修理・交換等を行っているものの設備備品の経年劣化は進んでいる。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

令和3年度、利用者がいない状況で指定管理を開始して4年が経過する中、関係機関との連携等を図るなど利用者の増加に努めているが、令和6年度は利用者が減少し、収入も減少した。しかしながら、利用者、家族の意思を尊重しながら、地域生活への移行に努めた点や経費の節減を徹底している点などは評価できる。また、利用者の安全や利便性に留意した管理が行われていることを確認した。

令和6年度の利用者満足度調査結果(令和7年3月末)の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえど満足」の割合は、95.4%となり、目標を上回っているが、「不満」という利用者もあることから、調査結果を分析の上、施設運営の改善を図ることや利用者個々のニーズを踏まえた個別支援計画の策定をはじめ、根拠法令等を踏まえて質の高いサービスの提供に努めること等の指導を行った。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

収支の改善について、関係機関に働きかけを行うなど利用者確保に努めており、引き続き取り組みを強化して参ります。また、利用者満足度の向上について、満足度調査の結果を分析し施設運営の具体的な改善方法を検討し、対応可能なものには取り組んでおります。引き続き、医療機関及び市町村等の関係機関と連携しサービス向上を図るとともに、居住環境の改善に努めて参ります。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立あゆみの家
 所 管 課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	自立訓練(生活訓練)	18	6	15	15	13
	宿泊型自立訓練	17	6	15	15	13
	短期入所	0	1	0	1	1
	利用者数合計	35	13	30	31	27
	目標値	44	28	42	42	42
	実績／目標割合	79.5%	46.4%	71.4%	73.8%	64.3%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利 用 率	稼働率等(利用率)	79.5%	46.4%	71.4%	73.8%	64.3%
	稼働率等(利用率) の算定方法	利用者数(月平均)／施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内 容 等	・山梨県立育精福祉センター:成人寮(施設入所90人、生活介護105人、短期入所9人)、児童寮(施設入所70人、短期入所9人) ・梨の実寮:施設入所40人、生活介護44人、就労移行支援6人、就労継続支援B型10人、短期入所6人、 ・あさひワークホーム:施設入所40人、生活介護46人、就労継続支援B型34人、短期入所5人 ・あけぼの医療福祉センター成人寮:施設入所40人、生活介護45人、自立訓練(機能訓練)15人、短期入所15人
------------	---

3 捕修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県	静養室、宿直室空調機改修工事	792,000
管	洗面水栓修繕工事	17,600
管	ビル用サッ sikクレセント取付	7,365
管	aaaaaaaaaaa	32,133
管	公用車左二列目シート点検修理	24,651
管	空調機点検作業	22,000
管	ルームエアコン(室内機送風用部品交換)	26,070

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	72,195,903	45,946,915	53,224,674	54,863,210	47,987,859
	施設利用料	71,696,808	22,442,107	49,381,684	53,145,064	47,520,436
	指定管理委託料		23,427,808			
	受取利息配当金収入	3,508		97	93	6,583
	その他	495,587	77,000	3,842,893	1,718,053	460,840
支 出	B 支出額計	55,858,410	39,850,398	46,517,207	45,238,992	49,729,648
	人件費	43,434,903	32,224,782	37,164,012	38,576,892	43,479,866
	給食費	418,253	944,172	1,605,679	1,545,120	1,430,300
	修繕費	437,370	83,050	31,900	645,700	129,819
	光熱水費	2,608,388	1,675,038	2,699,512	2,205,150	2,258,306
	消耗器具備品費	618,646	1,171,771	274,640	128,748	104,840
	事務消耗品費	181,687	1,410,449	79,852	42,985	102,728
	賃借料	1,481,713				
	保険料	230,621	246,220	268,370	240,180	244,700
	教養娯楽費	196,354	22,331	50,914	51,237	79,330
	旅行交通費	3,350	2,346	3,850	3,386	6,554
	研修研究費	714,744	8,000	12,000	2,203	6,000
	通信運搬費	612,059	256,690	251,493	227,049	263,831
	広報費	656,732		159,170	105,820	
	租税公課費	267,550	112,680	101,665	45,400	53,155
	日用品費		41,633	45,320	63,162	33,000
	その他	891,244	1,092,954	3,161,574	584,445	837,669
	外部委託費	3,104,796	558,282	607,256	771,515	699,550
	保守点検業務	302,890	435,818	346,490	513,785	439,015
	会計業務	203,546		132,000	132,000	132,000
	その他	2,598,360	122,464	128,766	125,730	128,535
	外部委託比率	5.6%	1.4%	1.3%	1.7%	1.4%
	県への納付金					
収支差額(A-B)		16,337,493	6,096,517	6,707,467	9,624,218	△ 1,741,789
一人当たりの収入額*		2,062,740.1	3,534,378.1	1,774,155.8	1,769,781.0	1,777,328.1

* 収入額計 ÷ 利用者数(単位:円)

一人当たり指定管理者委託料*	—	1,802,139.1	—	—	—
----------------	---	-------------	---	---	---

* 指定管理者委託料 ÷ 利用者数(単位:円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	日 時: 第1回:令和6年7月29日(月)、第2回:令和7年2月13日(木) 方 法: 調査票(別紙)、回答は無記名 (第1回、2回とも同様) •全員に調査協力依頼と回答に関する説明のうえ記入 •回収は当日、各自の手で回収用封筒に入れる 回答者: 第1回:入居者12名、第2回:入居者10名 結 果: 集計結果は職員会議で共有し、対策等を行った上で入居者へ報告 ※下記データ(%)は、2回の結果を平均した割合				
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	
①職員の言葉づかいや礼儀、態度	59.0%	31.8%	4.6%	4.6%	
②職員の話・説明(内容・言葉)のわかりやすさ	63.5%	27.3%	4.6%	4.6%	
③職員のコミュニケーション(会話、表情、雰囲気等)	68.2%	27.2%		4.6%	
④職員の相談しやすさ等	40.9%	54.5%		4.6%	
⑤職員の利用者の気持ちを尊重した対応	45.4%	40.9%	9.1%	4.6%	
⑥職員の利用者・家族のプライバシー配慮や個人情報保護等の対応	45.4%	45.4%	4.6%	4.6%	
⑦施設からの書面(お知らせ等)のわかりやすさ	50.0%	45.4%		4.6%	
⑧夕食(献立、品数、味付け等)	31.8%	27.3%	13.6%	27.3%	
⑨入浴(使用時間、設備等)	31.8%	45.4%	18.2%	4.6%	
⑩環境・衛生面(室温、清掃・整理整頓等)	45.4%	45.4%	4.6%	4.6%	
⑪職員の利用者の健康状態を把握した対応	68.1%	22.7%	4.6%	4.6%	
⑫利用者自身が健康状態を理解し、安定した生活が送るための支援	54.5%	31.8%	9.1%	4.6%	
⑬プログラム活動(清掃、買い物、体力づくり等)	45.4%	36.4%	13.6%	4.6%	
⑭個別支援計画・訓練実施計画(利用者の意向尊重等)	50.0%	45.4%		4.6%	
⑮サービス管理責任者・生活支援員の制度理解	40.9%	54.5%		4.6%	
⑯施設全般の満足度	40.9%	54.5%		4.6%	
利用者の主な意見	①1人当たりの入浴時間が短い、病院と同じくらいにもう少し長くしてほしい。 ②食事の味付けが濃い又は薄い、時々苦手なメニューがある、業者の他の時間帯からのメニューも選択してほしい。 ③訓練が自分のためになっているか不安、もっと専門的なプログラムも行ってほしい。 ④CATVと契約してほしい、Wi-Fi環境を整備してほしい、ウォッシュレット付きのトイレを増やしてほしい。(利用希望の見学・体験者からも同様の声あり。) ⑤居室を防音断熱(廊下や隣室の音が響く、冬季のサッシからの冷気)にしてほしい。 ⑥浴室のシャワーの水圧・湯温を安定化させて欲しい。				

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

利用者の意見 への対応	<p>①入浴について、1人当たりの時間設定の根拠(定員数と給湯や清掃時間等を考慮)、所定時間を踏まえて行動することは社会生活場面で必要なことに通じることから、現状どおりとすること等を説明し理解を得ながら、各利用者が希望する時間帯の相談や準備含めて計画的効率的に入浴できるよう支援している。一方で、入浴可能な時間帯を延長し、夕食後の入浴を可能としたことで、「体調等日中に都合が悪かったが入れてよかったです」、「睡眠に良い影響となっている」「慣れて時間内で入浴出来るようになった」等の声も聞かれている。</p> <p>②食事では平日の夕食提供に関して、献立や食材が幅広く味つけを含めて栄養的には適切であること、費用の点でも他業者では利用者負担が増額になること等を説明し、理解を得るよう努めている。契約業者の献立表で平日、夕食以外の献立を注文してみることや汁物のアレンジ等、可能な工夫をしている。個人的嗜好で追加して摂ることは可能としているが、自分で準備する食事も含めて健康的な食生活・習慣への意識づけに努めている。</p> <p>③利用者には、障害特性等に応じた個別支援計画・訓練実施計画の策定及びモニタリングを実施し、定期的に計画の見直しを行っているが、今以上に利用者との合意形成を図りながら訓練を実施して行きたい。</p> <p>④、⑤、⑥県へも相談しながら、できることを精査し、利用者にとって安全かつ快適な生活環境の中で訓練できるようにして行きたい。</p>
----------------	--

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>建物や敷地内の通路や廊下等、日頃から職員による整理整頓及び破損・汚損・劣化等の点検を行うとともに、業者による法定点検を実施した。備品台帳品目数の有無と劣化等不具合状況をチェックし、更新の優先度や予算見積を行い県所管課に提出した。</p> <p>年度内に故障が発生した備品は県に報告し、旧式で部品交換不可能のため更新となった。その他、公用車内設備、利用者居室エアコンの不具合等には速やかに対処し、利用者に安全・安心の環境下で快適な生活及び充実した生活訓練ができる体制に努めた。</p>	<p>定期的な保守管理や整理整頓及び清掃作業等により、利用者の安全や利便性に留意した適切な管理が行われた。</p> <p>また、年に一度の備品の現品確認に合わせ、劣化状況等を把握し、更新の優先度を県へ報告した点は評価できる。</p> <p>今後も保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、県に報告するとともに、早急に対応されたい。</p>
運営業務	<p>個別支援計画及び訓練実施計画を策定し、将来の地域生活に向けて利用者本人及び家族、関係機関等と連携し、計画的に具体的な支援及び評価を行った。</p> <p>また、日常生活を通しての個別支援と並行してグループ活動として料理、園芸、外出(公共交通機関利用)等、利用者主体で計画、実施、評価、報告会を行い、コミュニケーションや協調性等社会生活能力の向上に取り組んだ。さらに、施設内でピアカウンセリングの目的とすすめ方の学習を行い、令和7年度からの施設内利用者間での活動開始に向けて企画準備等を行った。</p>	<p>事業報告書等を確認したところ、適正に運営されていた。</p> <p>また、個別支援と並行してグループ活動の見直し強化を図り、コミュニケーションや協調性等社会生活能力の向上にも取り組んだ。</p> <p>引き続き利用者個々の特性を踏まえた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供に努力されたい。</p>
利用状況	<p>新規入居者6名に対し退居者は12名、年度末利用者は8名となり、過去の月平均利用者に比べ減少。退居者のうち10名は、自宅やグループホーム等希望する地域生活に移行。グループホームに空きがある段階での退居が続いた。定期受診及び服薬管理は可能でも、病識及び訓練目標・計画等に対する認識、意欲・身体機能低下等による中途退居もあり。</p> <p>入居方向で調整中に病状や希望事業所の変更による終結例も複数あり、新規入居者の確保には困難を伴うが、医療機関等との連携を図って利用者確保に努める。</p>	<p>令和3年度、利用者がいない状況で指定管理を開始し、関係機関との連携等を図り、利用者の増加に努めて来たが、令和6年度は様々な理由により、利用者が減少した。</p> <p>新規入居者の確保には困難が伴うが、関係機関との連携及び体験利用の受入等を強化し、安定した利用者の確保に努められたい。</p>
収支状況	<p>定員に対する利用者の大幅な減少、年末年始等の自宅外泊、地域移行過程での日中及び宿泊体験の増加もあり、1日平均利用者の減少及び事業収入の減額が続いている。</p> <p>利用者減少の中でも、サービス提供にかかる光熱水費や個々の消耗品費単価は、物価高騰の影響を受け上昇しているため、厳しい状況にある。</p>	<p>利用者が減少したため、収入も減少しているが、物価や人件費高騰などの影響で支出も増加している。</p> <p>引き続き、利用者の確保に努めるとともに経費節減を行うこと。</p>
自主事業		

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

	<p>施設全般の満足度で、「どちらかと言えば満足」をあわせると90%以上の利用者から「満足」との評価だった。】</p> <p>地域生活に向けて主体的に取組む意識や実践は、障害特性等による個人差が大きく、目標及び支援計画等に対し共通認識を得ることの難しさを感じる。</p> <p>利用者からの意見や提案等は貴重であり振り返りや見直しの機会ととらえ、職員間で共有、優先度を踏まえ改善方法等検討を行い、利用者全体及び個々への説明や話し合いを行っている。食事や入浴の他に居室や共有設備の劣化等への要望もあるが、運営上改善が難しいこと等、継続的課題には理解を得られるよう努めている。</p>	<p>昨年度、満足の割合が最も低かった入浴について、入浴可能な時間帯を増やすなど、適宜改善を図り、昨年度より「満足」という回答の割合が10.4ポイント増加した点は評価できる。</p> <p>引き続き、満足度調査の結果分析、日々の利用者からの意見等を踏まえて、施設の運営管理及びサービスの向上を図られたい。</p>
--	--	--

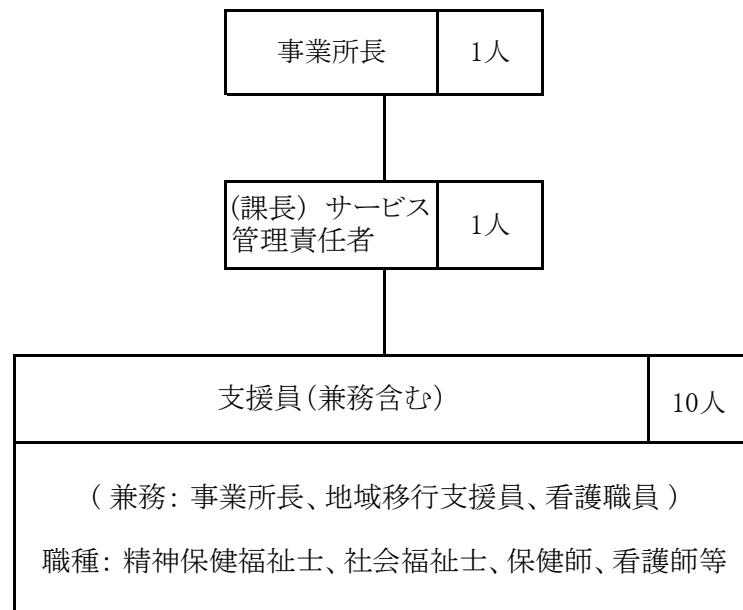
8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の満足度の向上	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を施策推進業務における評価指標とし、目標値を80%と設定。</p> <p>調査の結果(令和7年3月末)、割合は95.4%と目標を上回った。</p> <p>引き続き、利用者からの意見や提案等は随時職員間で共有し、支援の向上、満足度の維持・向上に努められたい。</p>	<p>利用者は、施設や職員に対しては概ね満足している。</p> <p>今回、満足度が比較的低かったものを含め、内容を分析の上、改善を図られたい。</p>
感染症対策	<p>施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者には感染予防対策に留意することを県から要請した。</p> <p>また、施設内で感染者が発生しないことを最善と想定し、目標とした。結果、利用者に感染者は出なかった。</p>	<p>施設内における感染症対策は適切に行われていることを確認した。引き続き、感染症対策の徹底に努められたい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和 6年4月1日現在



事業所長	1人	※支援員兼務
(課長) サービス管理責任者	1人	
地域移行支援員	1人	※支援員兼務
看護職員	1人	※支援員兼務
支援員(兼務除く) (宿日直職員4人)	7人	
合計	11人	